

大正、昭和、近未来のうどんを食べ比べるイベント「さぬきうどん

昭和の懐かしい味も

「さぬきうどんタイムカプセル」
坂出「近未来」風も人気

「さぬきうどんタイムカプセル」が3日、坂出市林田町の製粉会社「吉原食糧」であった。

時代ごとに移り変わるうどんの味を楽しんでもらおうと同社が実施。「近未来」は2015年を想定し、豪州産と県産の小麦を融合した「ハイブリッド小麦粉」を使用した。

会場では、午前10時のオープン前から大勢の客が詰めかけ、一時は約50杯の長蛇の列が

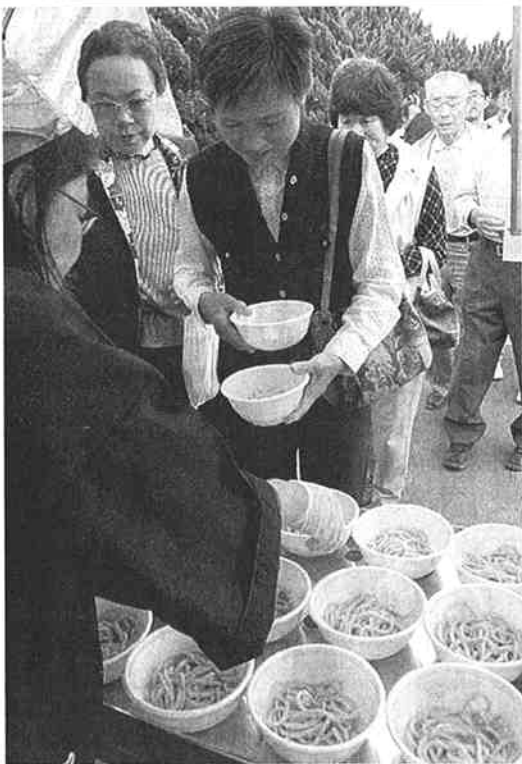
できる盛況ぶり。珍しいさがうけたのか、石臼でひいた大正時代のうどんと、近未来のうどんが特に人気だった。

会場には、荷台を使った紙芝居や、ちゃぶ台などを置いて昭和を再現したコーナーもあり、雰囲気盛り上げた。

家族で訪れた同市王越町の自営業、西村文夫さん(64)は「近未来のうどんが一番もちもちしていておいしかった。昭和のうどんは懐

かしい味でした」と話していた。

【矢島弓枝】



行列ができるほど盛況だった「さぬきうどんタイムカプセル」

坂出市林田町の吉原食糧で